

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
TSN米子流通センター

欄にコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
C 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境		2.6	0.15		-		-	2.6
1.1 騒音		3.0	0.40		-		-	
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-		-	
2 設備騒音レベル								
1.2 遮音		3.0	0.40		-		-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-		-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-		-	
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-		-	
2 温熱環境		2.2	0.35		-		-	2.2
2.1 室温制御		2.2	0.50		-		-	
1 室温設定		3.0	0.38	3.0	-		-	
2 室内気流・温度制御								
3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-		-	
4 ゾーン別制御性		1.0	0.38		-		-	
5 温度・湿度制御								
6 湿度制御								
7 特殊気象条件に対する配慮								
8 熱放射対策								
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-		-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-		-	
3 光・視環境		2.3	0.25		-		-	2.3
3.1 屋光利用		1.8	0.30		-		-	
1 屋光率		1.0	0.60	3.0	-		-	
2 方位別開口				3.0	-		-	
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	-		-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30		-		-	
1 照明器具のグレア								
2 屋光制御		3.0	1.00	3.0	-		-	
3.3 照度		1.0	0.15		-		-	
1 照度		1.0	1.00	3.0	-		-	
2 照度調整機能								
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-		-	
4 空気質環境		3.8	0.25		-		-	3.8
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-		-	
1 化学汚染物質		4.0	1.00	3.0	-		-	
2 アスベスト対策								
3 放射能対策								
4 リン酸塩対策								
4.2 換気		3.3	0.30		-		-	
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-		-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-		-	
3 取り入れ外気への配慮		4.0	0.33	3.0	-		-	
4 熱回収								
4.3 運用管理		4.0	0.20		-		-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50		-		-	
2 喫煙の制御		5.0	0.50		-		-	
Q2 サービス性能			0.30		-		-	3.3
1 機能性		3.4	0.40		-		-	3.4
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.60		-		-	
1 広さ・収納性		4.0	0.33	3.0	-		-	
2 高度情報通信設備対応		2.0	0.33	3.0	-		-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.33		-		-	
1.2 心理性・快適性		4.0	0.40		-		-	
1 広さ感・景観		4.0	0.33	3.0	-		-	
2 リフレッシュスペース		5.0	0.33		-		-	
3 内装計画		3.0	0.33		-		-	
1.3 維持管理					-		-	
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
2 耐用性・信頼性		3.1	0.31		-		-	3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48		-		-	
1 耐震性		3.0	0.80		-		-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.33		-		-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23		-		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23		-		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		5.0	0.09		-		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08		-		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.15		-		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23		-		-	

2.3 適切な更新						
2.4 信頼性			3.2	0.19		
1	空調・換気設備		3.0	0.20		
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		
3	電気設備		3.0	0.20		
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		
5	通信・情報設備		4.0	0.20		
3 対応性・更新性			3.3	0.29		3.3
3.1 空間のゆとり			4.2	0.31		
1	階高のゆとり		5.0	0.60	54	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	50	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	39	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38		
1	空調配管の更新性		3.0	0.17		
2	給排水管の更新性		3.0	0.17		
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		
6	バックアップスペース		3.0	0.22		
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40		2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		
LR エネルギー・資源・環境性能						3.6
LR1 エネルギー			-	0.40		3.8
1 建物の熱負荷抑制						
2 自然エネルギー利用			3.0	0.29		3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		
3 設備システムの高効率化		ERR-62.5	5.0	0.43		5.0
4 効率的運用			3.0	0.29		3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50		
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		3.4
1 水資源保護			3.4	0.15		3.4
1.1	節水		4.0	0.40		
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60		
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33		
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63		3.4
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07		
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25		
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.21		
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.21		
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	0.25		
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.22		3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用		4.0	0.32		
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68		
1	消火剤		4.0	0.33		
2	断熱材		2.0	0.33		
3	冷媒		3.0	0.33		
LR3 敷地外環境			-	0.30		3.7
1 地球温暖化への配慮			4.8	0.33		4.8
2 地域環境への配慮			3.5	0.33		3.5
2.1	大気汚染防止		5.0	0.25		
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25		
1	雨水排水負荷低減		-	-		
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		
3	交通負荷抑制		5.0	0.33		
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33		
3 周辺環境への配慮			2.8	0.33		2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		
1	騒音		3.0	1.00		
2	振動		-	-		
3	悪臭		-	-		
3.2 風害、日照阻害の抑制			2.3	0.40		
1	風害の抑制		2.0	0.70		
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30		
3.3 光害の抑制			3.8	0.20		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		5.0	0.70		
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		1.0	0.30		